

# DMATの意義について



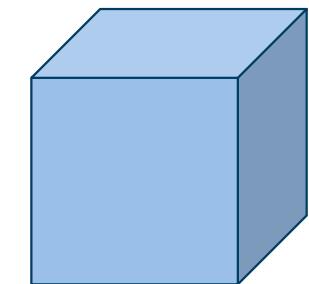
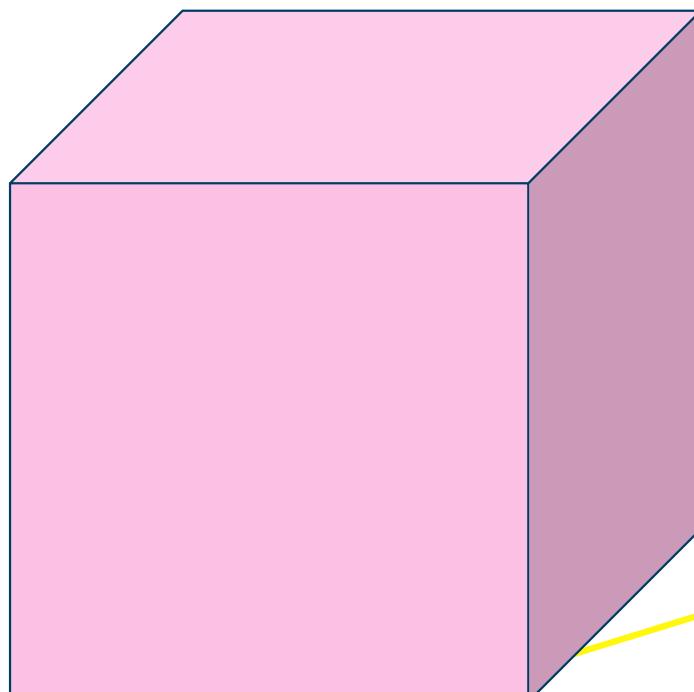
# 災害医療概論

# 災害では

需要

資源

アンバランス



より大きな不均衡が  
より壊滅的な結果をもたらす

# さまざまな災害

地震

津波

高潮

大雨

雪崩

台風

竜巻

土砂災害

火山噴火

群集事故

崩落事故

原子力事故

火災

公害

列車事故

航空機事故

多重交通事故

新興・再興感染症

# 災害の規模による分類

## ◆ 地域災害（局地災害）

- 地域で対応可能な規模の災害

## ◆ 広域災害

- ブロックレベルでの対応が必要な災害

## ◆ 激甚災害

- 全国レベルでの対応が必要な災害

# 要配慮者(災害弱者)

## CWAP

C (Child)

子供

W (Woman)

女性

A (Aged People)

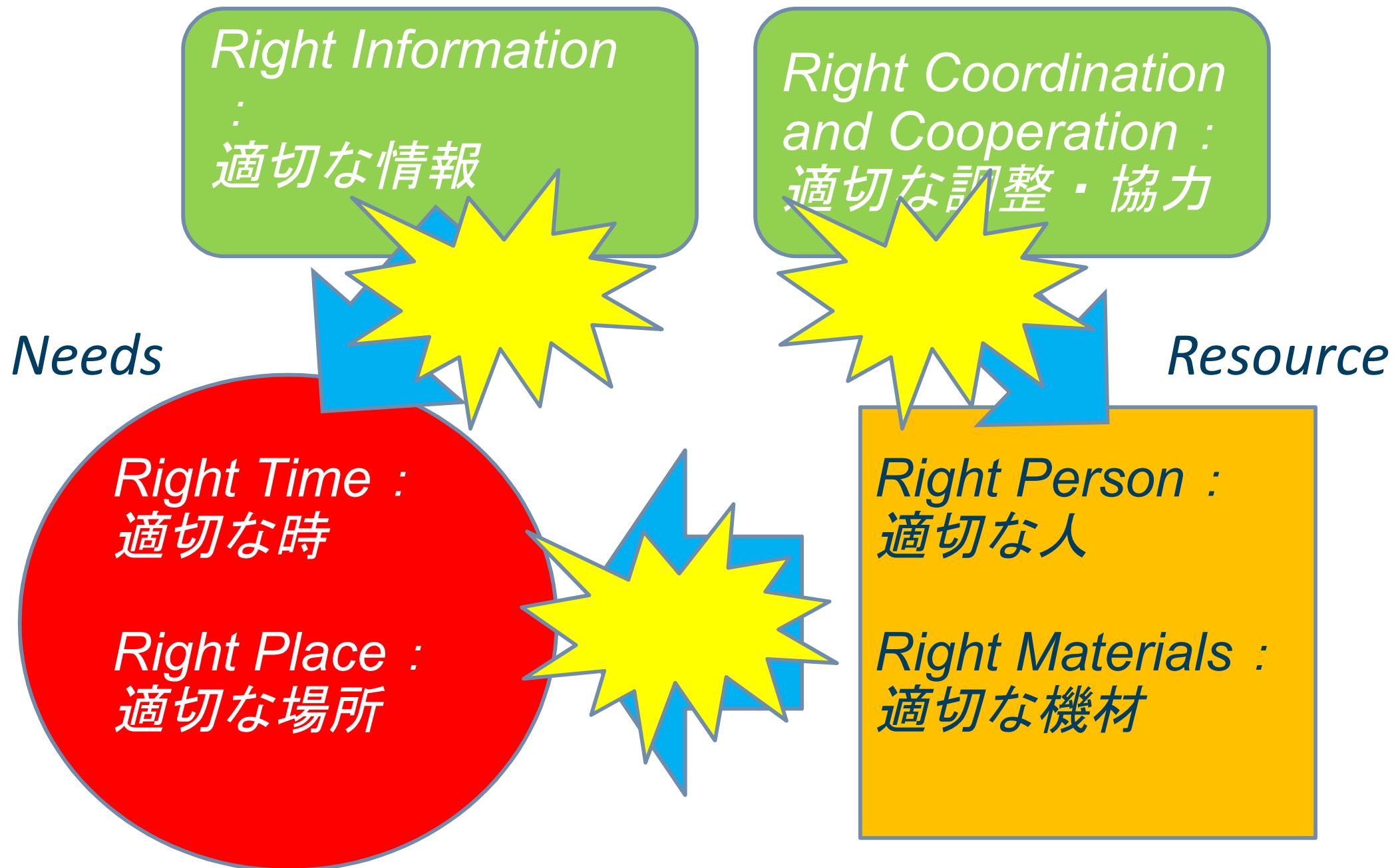
老人

P (Poor or Patient)

貧困者、病人

※社会的な弱者は、災害弱者である

# 災害時のManagement ;6R's



# 阪神淡路大震災 1995.1.17

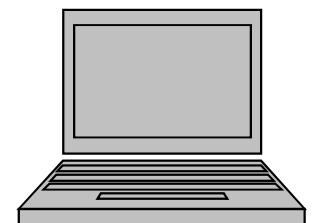
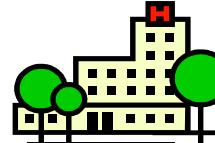
## 初期医療体制の遅れ

「避けられた災害死\*」が約500名存在した可能性あり

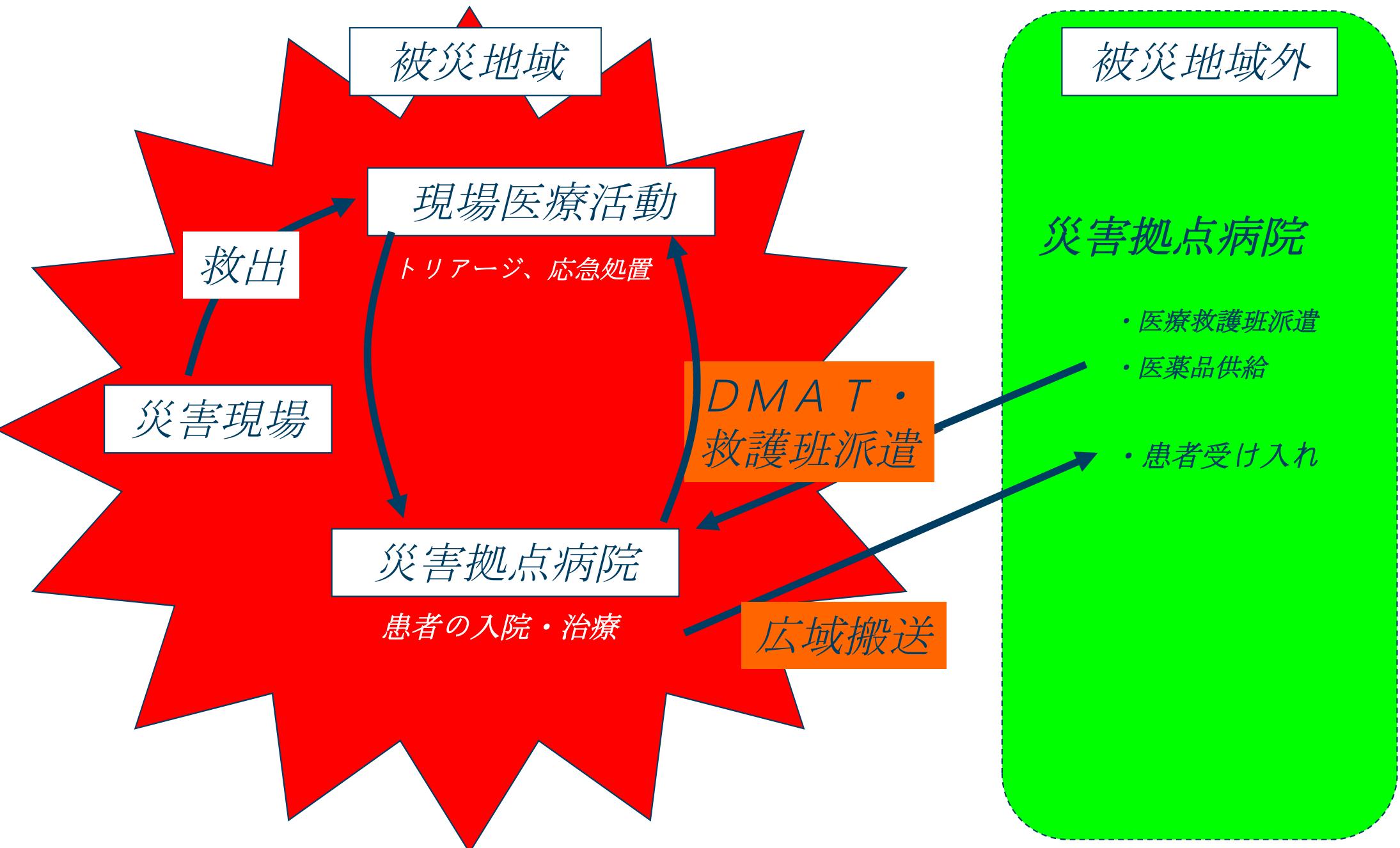
「避けられた災害死\*」とは平時の救急医療レベルの医療が提供されていれば救命できたと考えられる災害死

# 阪神・淡路の教訓

- ・ 災害医療を担う病院がなかった。
  - 災害拠点病院
- ・ 急性期の被災地における医療支援が欠落していた。
  - DMAT
- ・ 重症患者の広域搬送が行われなかつた。
  - 広域医療搬送計画
- ・ 医療情報が全く伝達されなかつた。
  - 広域災害救急医療情報システム(EMIS)



# 我が国の災害医療体制



# 災害拠点病院指定要件

## ○災害時における医療体制の充実強化について

(平成24年3月21日医政発0321第2号厚生労働省医政局長通知)

別紙 災害拠点病院指定要件 (抄)

### ① 運営について

- ・ 24時間緊急対応し、災害発生時に被災地内の傷病者等の受け入れ及び搬出を行うことが可能な体制を有すること
- ・ 災害発生時に被災地からの傷病者の受け入れ拠点にもなること
- ・ 災害派遣医療チーム（D M A T）を保有し、その派遣体制があること
- ・ 救命救急センターもしくは第二次救急医療機関であること
- ・ 地域の第二次救急医療機関とともに定期的な訓練を実施し、災害時に地域の医療機関への支援を行う体制を整えていること
- ・ ヘリコプター搬送の際には同乗する医師を派遣できることが望ましい

# 災害拠点病院指定要件

## ② 施設及び設備について

- ・ 救急診療に必要な部門
- ・ 多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の重篤救急患者の救命医療を行うために必要な診療設備
- ・ 患者の多数発生時に対応可能なスペース（入院患者は2倍、外来患者は5倍）
- ・ 患者多数発生時用の簡易ベッド
- ・ トリアージ・タグの保有
- ・ 病院敷地内のヘリコプターの離着陸場の設置
- ・ 診療機能を有する施設の耐震化
- ・ 通常時の6割の程度の発電容量のある自家発電設備、3日分程度の燃料
- ・ 食料、飲料水、医薬品等の3日分程度の備蓄
- ・ 適切な容量の受水槽、停電時にも使用可能な井戸設備、優先的な給水協定の締結
- ・ 衛星電話の保有、衛星回線インターネットが利用できる環境
- ・ DMA Tや医療チームの派遣に必要な緊急車両の保有
- ・ 被災地における自己完結型の医療救護に対応できる器材の保有



# 災害拠点病院の整備状況

- ・ 災害拠点病院は平成8年より整備を開始
- ・ 平成31年4月1日現在までに742病院を指定

| 都道府県 | 基幹 | 地域 |
|------|----|----|
| 北海道  | 1  | 33 |
| 青森県  | 2  | 8  |
| 岩手県  | 2  | 9  |
| 宮城県  | 1  | 15 |
| 秋田県  | 1  | 13 |
| 山形県  | 1  | 6  |
| 福島県  | 1  | 7  |
| 茨城県  | 2  | 12 |
| 栃木県  | 1  | 10 |
| 群馬県  | 1  | 16 |
| 埼玉県  | 1  | 20 |
| 千葉県  | 4  | 22 |
| 東京都  | 2  | 80 |
| 神奈川県 | —  | 33 |
| 新潟県  | 2  | 12 |
| 富山県  | 2  | 6  |

| 都道府県 | 基幹 | 地域 |
|------|----|----|
| 石川県  | 1  | 9  |
| 福井県  | 1  | 8  |
| 山梨県  | 1  | 8  |
| 長野県  | 1  | 9  |
| 岐阜県  | 2  | 10 |
| 静岡県  | 1  | 22 |
| 愛知県  | 2  | 33 |
| 三重県  | 1  | 14 |
| 滋賀県  | 1  | 9  |
| 京都府  | 1  | 12 |
| 大阪府  | 1  | 18 |
| 兵庫県  | 2  | 16 |
| 奈良県  | 1  | 6  |
| 和歌山県 | 1  | 9  |
| 鳥取県  | 1  | 3  |
| 島根県  | 1  | 9  |

| 都道府県 | 基幹 | 地域  |
|------|----|-----|
| 岡山県  | 1  | 9   |
| 広島県  | 1  | 18  |
| 山口県  | 1  | 12  |
| 徳島県  | 1  | 10  |
| 香川県  | 1  | 9   |
| 愛媛県  | 1  | 7   |
| 高知県  | 1  | 11  |
| 福岡県  | 1  | 30  |
| 佐賀県  | 2  | 6   |
| 長崎県  | 2  | 11  |
| 熊本県  | 1  | 13  |
| 大分県  | 1  | 13  |
| 宮崎県  | 2  | 10  |
| 鹿児島県 | 1  | 13  |
| 沖縄県  | 1  | 12  |
| 合計   | 61 | 670 |

基幹災害拠点病院

原則として各都道府県に1か所設置する。

地域災害拠点病院

原則として二次医療圏に1か所設置する。

# DMAT(Disaster Medical Assistance Team)

## ◆ DMATとは

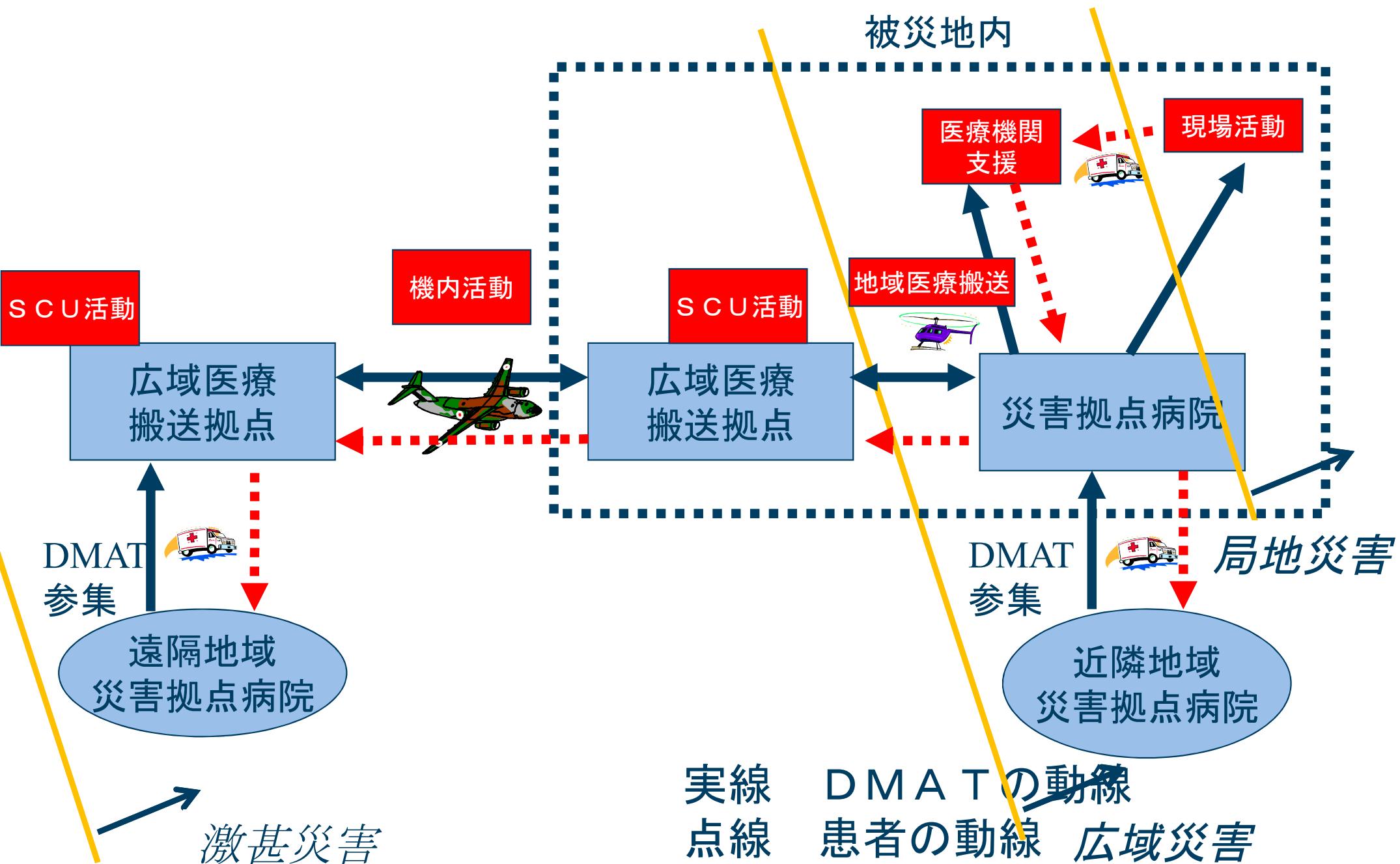
「災害急性期に活動できる機動性を持った  
トレーニングを受けた医療チーム」

平成13年度厚生科学特別研究  
「日本における災害時派遣医療チーム(DMAT)の  
標準化に関する研究」報告書

## の特徴

- ◆ 事前計画（DMAT活動要領）、都道府県との協定に基づく活動
- ◆ 標準的な教育を受けた個人が登録されている
- ◆
- ◆
- ◆
- ◆
- ◆
- ◆
- ◆
- ◆

# DMATの活動の規模



# DMATの活動

## ◆ 業務内容

本部業務

調査業務

搬送業務

診療業務 他.

## ◆ 活動場所

調整本部

活動拠点本部

病院

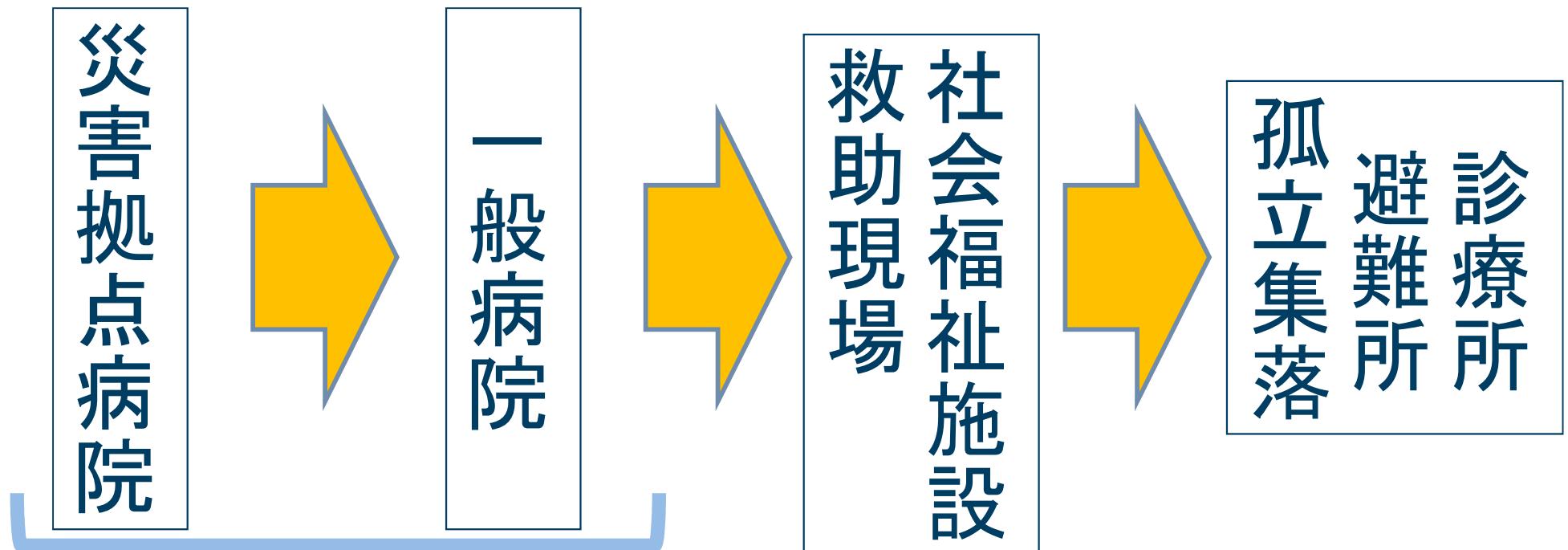
SCU

現場

社会福祉施設

避難所・孤立集落 他.

# DMAT活動の優先順位



病院支援  
(物資、搬送、診療)

現場活動  
施設支援

避難所支援  
救護所活動  
診療所支援

DMATは唯一迅速に、組織的に活動できる災害の専門家集団

他の支援が組織的に行われるまでカバーすることが期待される。

~~それはDMATの仕事ではない~~

すべては被災者のために

DMATは、被災地・現場で既に活動をしている  
関係者を支援するために派遣される

